

# 山本ゼミ(アメリカ社会史)

山本明代

アメリカにおける社会史は、黒人公民権運動やベトナム反戦運動の高まりの中で、伝統的な史学と近代の知の枠組みへの批判から起こり、社会の周辺におかれた黒人、先住民、移民、労働者、女性などの視点から歴史を見直し、歴史を書きかえる試みとなりました。このゼミでは、アメリカ社会が歴史的にどのように形成されたのかという点について、とくに政治、経済、文化などの相互作用や社会を構成する諸集団の相互関係に注目して考察します。社会史に取り組むことは、現代社会のあり方が歴史的にどのように規定されてきたのかを問い、今日に生きるわたしたちを取り巻く諸問題について考えることでもあります。また、アメリカ社会内部の問題だけではなく、他の地域とアメリカが人・モノ・文化を介していかに関わってきたのか、そこからどんな問題が生じてきたかについても注目していきます。

## <現在のゼミ紹介>

ゼミ参加者は、4年生5名、3年生5名です。

### 3年生が昨年2年次後期に読んだ文献

- ・渡辺靖編『現代アメリカ』（有斐閣アルマ、2010年）
- ・堤未果『ルポ貧困大国アメリカ』（岩波新書、2008年）
- ・飯山雅史『アメリカの宗教右派』（中公新書ラクレ、2008年）
- ・常松洋・松本悠子編『消費とアメリカ社会』（2005年、山川出版社）
- ・鈴木透『性と暴力のアメリカ』（中公新書、2006年）

### 3年生の今年度前期の計画

① 春休みに作成したレポートを基に研究発表

3年生が春休みに書いたレポートのテーマ：「アメリカにおける働き方の変化」、「アメリカの貧困と家族構成」、「アメリカの公教育の商品化」、「少年犯罪と闘うアメリカ」、「カナダの社会保障制度」

②前期のゼミで読む文献

- ・雑誌『アメリカ研究』、『アメリカ史研究』などから各自興味がある論文を選んで発表
- ・Fiske-Rusciano (ed.), *Experiencing Race, Class, and Gender in the United States*, (McGraw-Hill, 2008)などから各自興味がある英語論文を選んで発表

### 4年生の卒論テーマ(仮)

「アメリカの異人種間結婚禁止法」、「訴訟社会アメリカの現状と陪審制度」、「アメリカの学校給食と子どもへの影響」、「アメリカにおける移民の就労」、「仏教にみる死生観」

### 後期のゼミ(2,3年生)で取り組むテーマの候補

19世紀後半から現代までのアメリカの社会変容を学ぶ

ハワード・ジン著、猿谷要監修『民衆のアメリカ史』上下巻、(明石書店、2005年)

エリック・フォナー著、横山良ほか訳『アメリカ自由の物語』を読む

トランスナショナル・マイグレーションをめぐる諸問題(移民、格差、人種など)

\*ゼミに入った人の問題関心も考慮する。

### 合宿とその他

ゼミ合宿 研究発表会が中心、10月か11月の週末

ゼミの時間と場所：水曜日の3限(3年生)、4限(4年生)、5階506セミナー室

メール・アドレス：yamamoto@hum.nagoya-cu.ac.jp

## ＜ゼミの進め方＞

具体的には、次のような手順で進めます。2年生のゼミでは、邦語基本文献を中心にアメリカ社会の諸問題とその歴史的背景について幅広く学びます。3年生のゼミでは、年度ごとにテーマを定め、それに沿った邦語・英語文献を数多く読み、議論していきます。それと並行して、各自、卒業論文執筆に向けて研究を進め、その成果を報告し、学期ごとにレポートか小論文を作成していただきます。4年生の卒業研究演習では、各自卒業論文の題目を確定し、先行研究を批判的に考察した上で中間報告を重ね、論文を完成させます。

## ＜卒業論文のテーマ＞

### 2012年度

「ウォール街占拠運動とは何か—運動の意義とそれがもたらす可能性」、「ニューオリンズの公教育再編—ハリケーン・カトリナ後の大規模なチャータースクール制導入」、「無保険者を生み出すアメリカ医療保障システムの実態と問題点—雇用主提供医療保険に焦点をあてて」、「ヒップホップ・カルチャーに見るジェンダー問題」、「アメリカ大統領選挙におけるヒスパニック系の政治参加の考察—国勢調査とアウトリーチの重要性」、「オーストラリア移民政策における多文化主義の変容—ポイントシステムに焦点をあてて」

### 2011年度

「アメリカの同性婚論争」、「アメリカの創られる衛生概念—ジェンダーの視点から」、「『女性の権利』から見たアメリカの中絶問題」、「Undocumented Students—ドリーム・アクトの展望と課題」、「アメリカの大学生による集団への参加」、「プエルトリコにおける政治的地位の考察」、「カナダにおけるマイノリティ言語教育と多文化主義」

### 2010年度

「越境するメキシコ壁画運動のポリティクス」、「アメリカにおける医療制度問題—国民皆保険を阻む要因と展望」、「アメリカにおける教育改革と貧困問題は正の可能性」、「アメリカにおける『伝統的家族像』の形成と崩壊」、「アメリカ肥満問題—階級による食生活の違いがもたらす現状と展望」、「一次産品に依存する途上国の現状と貧困増長の背景」、「ハンガリーにおける難民支援政策の考察」

### 2009年度

「シアトルにおける黒人貧困層と人種による住み分け」、「先住民の集団的アイデンティティの再構築—オーストラリア・アボリジンを例に」、「シングルペアレントの貧困問題解決に向けた社会福祉政策の研究」、「アメリカの学校における人種統合と学力向上政策」、「アメリカにおけるジェンダーと女性の社会進出—管理職への女性の社会進出を阻む要因と展望」、「アメリカにおけるミスコンテストの意義—白人中心社会を生きるマイノリティ女性を通して」

### 2008年度

「アメリカにおける異文化の取捨選択と再構築のシステムについて—ハロウィンを通して」、「ファーストフード産業からみるアメリカ社会」、「MLB から見たアメリカ」、「オーストラリアにおける市民性教育」

### 2007年度

「Hip Hop から見たアメリカ—格差の中に潜む抑圧的社会構造の現実とその打開を目指して—」、「グローバリゼーションとアメリカ—メキシコ国境地域のローカリズム」、「拡大するグラフィティ・カルチャー」

### 2006年度

「女を創る化粧—アメリカにおける化粧産業・ファッション・メディアが創り出す女性イメージ」、「ハリウッド映画に見る日本人ステレオタイプの変遷」、「奴隷制下の黒人奴隷家族と女性」、「ディレーノ・ストライキに見るアメリカ社会—農業労働者が描いた市民像」、「ブラック・パンサー党が黒人運動に果たした役割とその再評価」

### 2005年度

「アメリカ黒人音楽の創造—人種的・階級的境界線上の関連・闘争・矛盾の考察を通して」、「社会構造の変容とインディアン性の再構築—インディアン女性を通して」、「1893年シカゴ万国博覧会『女性館』に見る日米の女性像」、「食のアメリカ化と家政学の発展」、「第二次世界大戦期におけるハワイ日系アメリカ人—浄土真宗本願寺派が与えた影響」

### 2004年度

「 minstrel・ショーから探る人種意識」